

令和3年度各会計予算案の大綱



次に、令和3年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

令和3年度の予算編成は、「滝川市第2期財政健全化計画」の2年目の予算となり、事務事業見直しを進めつつ、新たな課題の対応と将来に向けた投資を図るなど、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指した予算となるよう編成したものです。

令和元年度に策定した、「滝川市第2期財政健全化計画」及び「滝川市立病院経営改善計画」の着実な取組により直面する課題に向き合い、将来への改善策を制度設計するとともに、総合計画の7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	209億 5,800万円
特別会計	96億 5,548万円
下水道事業会計支出	25億 3,371万円
病院事業会計支出	78億 1,470万円

となり、各会計の歳出総額は409億6,189万円で、令和2年度当初予算と比較して、0.8%の減、金額では3億996万円の減となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、前年度に対して1,600万円減となる予算としましたが、地域経済の活性化を図るため、道路新設改良事業や緊急浚渫推進事業などの実施、滝の川公園テニスコート改修事業などの実施、新型コロナウイルス感染症対策として予備費の増額を盛り込んだほか、ふるさと納税による寄付金額の予算増に伴う関連経費の増や市立病院への経営支援の継続なども盛り込んでおりますが、一方で、農村環境改善センター改修工事や滝の川斎苑改築工事など大型事業の減少、市立病院繰出金の減少などにより、

予算額 209億5,800万円で、前年度比0.1%の減となっています。

性質別にみますと、

人件費については、給食調理業務委託の通年化などにより、

予算額 33億6,763万円で、前年度比2.9%の減

物件費は、給食調理業務委託の通年化及びふるさと納税経費の増などにより、

予算額 25億5,782万円で、前年度比7.2%の増

扶助費は、訓練等給付費扶助の増などにより、

予算額 36億6,619万円で、前年度比0.7%の増

建設事業費は、滝の川公園テニスコート改修工事などの増により、

予算額 7億4,280万円で、前年度比6.9%の増

公債費は、計画的な借り入れの成果などにより、

予算額 16億3,894万円で、前年度比6.9%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、国民健康保険事業費納付金の増などにより、

予算額 45億2,595万円で、前年度比0.1%の増

公営住宅事業特別会計におきましては、工事請負費の減などにより、

予算額 4億2,856万円で、前年度比17.8%の減

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定は、保険給付費の減などにより、

予算額 39億3,720万円で、前年度比0.2%の減

介護サービス事業勘定は、管理代行負担金の減などにより、

予算額 7,251万円で、前年度比1.7%の減

介護保険特別会計総体では、

予算額 40億971万円で、前年度比0.2%の減

後期高齢者医療特別会計におきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、

予算額 6億6,366万円で、前年度比1.3%の増

土地区画整理事業特別会計におきましては、工事請負費の減などにより、

予算額 2,760万円、前年度比50.1%の減

下水道事業会計におきましては、企業債償還金の減などにより、

支出額 25億3,371万円で、前年度比1.4%の減

病院事業会計におきましては、医業費用の減などにより、

支出額 78億1,470万円で、前年度比1.8%の減となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

滝の川公園テニスコート改修工事 3億1,060万円

道路新設改良事業費 2億8,283万円

などを含め、総額で 7億4,280万円

公営住宅事業特別会計では、 5,078万円

下水道事業会計では、 6億1,191万円

全体で前年度比4.6%減の 14億 549万円 を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備のため、

道営土地改良事業負担金 1,000万円

道営土地改良事業計画樹立事業負担金 53万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保安全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億3,980万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の確保については、

産業振興・雇用創出・地域経済活性化の取組を支援するため、

滝川市産業活性化協議会負担金 320万円

地域産業の外国人材受入に向けた基盤づくりとモンゴル国における人材育成のため、

自治体職員協力交流事業費 1,060万円

分収造林地において保育間伐事業を実施し、適切な森林の成長を促すため、

森林管理事業費 80万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

滝川市の魅力ある観光資源・地域特性の再認識については、

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ出場するアルゼンチン共和国パラカヌーチームの滝川合宿を支援するとともに、共生社会の実現、心のバリアフリー活動を推進するため、

滝川市TOKYO2020ホストタウン推進協議会交付金 420万円 を計上しました。

集客・交流事業の推進については、

地域の優れた観光資源を活かし、観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,005万円

「総合交流ターミナルたきかわ」が多様なニーズを持つ利用者から選ばれるよう、魅力のある施設運営を行うため、

総合交流ターミナルたきかわの指定管理代行負担金 500万円

滝川市の観光案内所として機能充実を図るため、

たきかわ観光国際スクエア管理費 539万円 を計上しました。

国際化の推進については、

外国人在住者の生活支援や地域・企業への多文化理解促進を図るため、

外国青年招致事業費 2,401万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 14億549万円

住宅や都市機能増進施設の立地の適正化を推進するため、

立地適正化計画策定 500万円

町内会などが管理している街路灯のLED灯への切り替えを促進し、老朽化した自立柱を積極的に撤去するため、

街路灯設置費補助金 1,400万円

都市内交通の円滑化と土地利用の増進を目指し、換地計画に基づき換地処分及び区画整理登記を実施するため、

泉町土地区画整理事業費 500万円 を計上しました。

賑わいのある中心市街地の活性化については、

出店者の初期投資を軽減することで、空き店舗の流動化を促進するため、

店舗リノベーション支援事業補助金 170万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住宅住み替え支援事業補助金 930万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

安心して暮らせる保健・医療環境の充実については、

認知症予防を兼ねた脳ドック費用の一部を助成するため、

脳ドック費用助成事業費 99万円 を計上しました。

災害に強いまちづくりについては、

近年相次ぐ異常気象による河川氾濫を未然に防ぐため、

緊急浚渫推進事業費 2,500万円

安全、安心な消防体制の充実を図るため、

消防江竜支署広報車更新事業負担金 59万円

火災発生時の消防団召集に必要なサイレン吹鳴システムを更新するため

消防サイレン吹鳴遠隔制御装置整備事業負担金 202万円

災害時に必要な備蓄品を確保し、避難所の運営を行うため、

防災備蓄品購入費・避難所等経費 320万円 を計上しました。

合同墓の設置については、

お墓の承継が困難な方や経済的にお墓の建立に困っている市民のために、

合同墓整備事業費 880万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

ICTを活用した学習活動を推進するため、

小中学校教師用デジタル教科書導入事業費 291万円

江陵中学校と江部乙中学校の統合の際の制服・ジャージの買い換え費用支援のため、

中学校統合準備推進事業費 128万円

安全で安定した学校給食を提供するため、

学校給食調理業務等民間委託事業費 1億2,362万円

安心して快適な学校環境整備のため、

小中学校机椅子整備事業費 450万円

就学機会の拡大と併せて地域人材の定着などを目指すため、

國學院大學北海道短期大学部連携事業費補助金 150万円

國學院大學北海道短期大学部修学奨励金 1,300万円 を計上しました。

滝川市で子育てしたいと思われる環境づくりについては、

新生児の聴覚障がいを早期に発見するため、

新生児聴覚検査費用助成事業費 189万円

非課税世帯の小学生の通院に対して、一部負担金を除く医療費全額を助成するため、

子ども医療費助成事業 185万円

不妊・不育症の治療費用の助成により少子化対策の推進を図るため、

不妊治療支援事業費 200万円

安心・安全な出産をサポートするため、

妊婦健康診査支援事業費 1,984万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

江部乙地域におけるコミュニティ活動の拠点として充実を図るため、

農村環境改善センター運営委員会補助金 20万円

市民の健康増進を目的に、老朽化した滝の川のテニスコートを改修するため、

滝の川公園テニスコート改修事業費 3億1,375万円

市民の健康増進、世代間交流、地域コミュニティの醸成などを推進するため、

石狩川河川敷パークゴルフ場運営管理事業費 1,991万円

美術自然史館の企画展示を行うため、

企画展事業費 59万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

新型コロナウイルス感染症対策費については、

新型コロナウイルス感染症対策として、機動的に予算を執行できるようにするため、

予備費 2,000万円 を計上しました。

滝の川斎苑改築工事については、

旧施設の解体と外構整備のため、

滝の川斎苑改築工事費負担金 3,224万円 を計上しました。

道路台帳電子化については、

既存の道路台帳を電子化し、道路管理業務の効率化を図るため、
道路台帳電子化 530万円 を計上しました。

公共施設の一元管理については、

滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、持続可能な公共施設運営を図るため、
公共施設修繕事業費 2,274万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

個別事業の見直しや経費節減などによる経営改善を促進し、第三セクターの経営を支援するため、
滝川振興公社貸付金 6億5,500万円 を計上しました。

財政健全化の推進については、

滝川市立病院経営改善計画に基づき市と市立病院が一体となって取組を進めるため、
滝川市立病院経営改善計画実施支援事業費 2,077万円 を計上しました。

次に、これらに見合う令和3年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税について、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人市民税・法人市民税については所得の減少などから減額を見込みました。

また、固定資産税・都市計画税については、新型コロナウイルス感染症により事業収入が減少した場合の軽減措置と3年に一度の評価替えを考慮し減額を見込みました。

軽自動車税については、買い替えが進まず重課となる車両が増えることから増額を見込み、市たばこ税については、税率改正の影響を考慮し増額を見込みました。

収納率については、現年度分98.1%、滞納繰越分12.7%、合わせて88.5%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年2億9,557万円減の 40億1,611万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年2億248万円減の 63億6,252万円

ふるさと納税による寄付金については、令和2年度決算見込みを踏まえて、

対前年4億円増の 13億円

その他の歳入としまして、

国庫支出金 31億 27万円

道支出金 12億9,809万円

市債 12億 499万円 を計上しました。

基金繰入金については、対前年7,299万円減の4億4,186万円を計上しております。

以上、令和3年度の各会計予算案の大綱について、申し上げました。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、継続事業に一定の配慮を行ったほか、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取組に十分配慮したところ
です。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と
適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。